赤間氏の内務省入に反對空氣

よ軍部も乗り出す

近日鹿野一等主計正が來鮮、具體案樹立

完成に拍車をかくべく援助

目下本府と軍が折衝中の計畫に基づいて具體案を樹立、 軍をかけるべく援助することになり、近日東京千住製絨所長鹿野一等主計

方長官の異動 决定に至らず

亦間局長素熱療服養素の子

辭表提出

こととなった

义部次官 河原

- 河原大自か「津粉取扱」を目

四南問題解決の

全會を開催

漸く問題解決の見透しつく

蔣氏は斯へ目論

十二日に特越さる 從四位動三帝

> なってるたが、内務省の都合で 優長は地方長官に帰出することに

問長の内務省人りに憑原な反動

たの運びに至らず十二日の閣議に 側では承諾してゐるが、赤間思

新の實績を擧げる

算を編成した

水防團の擴充訓練の徹底希望

今井田總監が陳述

専掌する無任所相

のる一方、内部間には手段を備し

中全會で討議

八日蔣介石氏が言明

思京派話] 平任文相は就任以來

内閣直屬の諸外局を

選用内閣は、行政機械総革の第一「局として追訟局、親宜局・資源局」られ實献に あるので、之 等の【果泉市街」総式「新を総称する」化しつ、あるが、内閣には遺襲外・之憲護機関の事務意業まで手が 東務局、慰謝事份局の八外局が堀、役を作るのは能も変要であり、之統計局、印刷局、資動局、東北議典、務を一指して寮等する直相の榊原 設置案次第に有力化

られ實施にあるので、之等の事

相を訪問、聖護の後職職に列艦し九日午前 九時首 相言歌 に版田首

新步兵第七十五章 ADD 通常 步兵第七十五章 ADD 通常

に相當重大性を有するので彼め顕

の意見を聴取し、リースロ「補歩兵第七十五端隊所(各通)

旬日を出ぬか

新しきをたづねて、進むばか

日午後館見することゝなつて

羅融通利率中引下は

愈よ成案を得 日本府で委員會開催

回委員能を開催することしなった り本府第一會議案で曾長令井田 研究中であつたが庶上化のほ 散竄した 日は首相官邸において午前十時よ

時三十分首相宮郎において開催、「東京電話」九日の醗酸は年期十 定例閣議

|態用、永田拓相旅行のため終院||紫維脩氏等が有力である||現、黔田匹相、小川岡相、縣根木||しては紫陽二朗、大野藤一郎、

する機構を設置することになるの 場合して打つて一丸として流転模様 かあるので、結局内閣諸機構を説 世 ではないかと見られてゐる

都合に依り上京を早めて十二日 ることになった、なは巫家郡

であつた中川整酸器質は、政府の【東京電話】六月下旬士京の豫定

ることに依つて軍事行動を緩和し 公前の間めつくある吉安を占領

行的折断に入る模様であるが同

【廣東八日開盟】西州川は日下

西南軍の志氣旺ん

陸軍辭令元品的

、四郎高綱の姿を見ったり

も班上い、人生に於ても祈然り 「高麗との、ずつとりが能でもない、時に省みるの」る。 うらやましい』 と、手をのばした

野は崩えてきる場上できた。 と、資冬の大雪 一路つて来る人

步兵第七十四聯隊中隊長步兵第七十五聯隊中隊長步兵第七十五聯隊中隊長少兵第七十五聯隊中隊長

(148)

越路篇

英 花 治

畵 作

東中線長 同 杉本健次郎。 東中線長 同 杉本健次郎。 東京第七十四聯隊守備隊副官 世長第七十四聯隊守備隊副官 はぐれたまるのやうに――火しぶ ある。戦場から戦場の生涯に行き 兄弟は何年ふりかで磨つたので一

大長篇読切り

泉郷!哀れ命をかけ

灼熱の戀!

もう六十になる兄の盛解と、五 のちゃ。……兄者人、西側房、と、外の清きを知つてこゝへ来た ら、二人から、おそりなしの郡を慈泉にすくひ取らせてたまはるや のむ、髪水の小魚を、宏大無邊の ハヘお取次をた

た一片の手紙が、この修験をつくた。ももろん、西院も自分のやつ 盤綱は、そつと、眦をふいてる 減度が 撃にあふれて あた。

二人が、呼ばの心中が水・ 思は子派でも立かされる 腹(成)を刺するれる 腹(でも立かされる

血をそのまる歌えて、

十といふ人生を趣えて来た弟の四

郎高鵬と、二人は、幼少の兄弟の

場仰してゐた親 気持をもつ



並兵第七十五聯縣國境守備







の製化の上の針。編

題號



と、これも夢かのやうに、弟の

|検宮**返り血の留吉** | 瀬六

翻桃色の捕縄。写

條写了出世物語

が、高額の報心に對して、共々、と、ことばは短いものであつた その日から、弟

から、風へられた。原生の名であつ 兄の盛期は、そのまへに、光質 れてゐた。 かつた かこの朝、親親 災を許すことに

人々は、鬼意に 鄙依の 心を 尽くるのを見ると、この越後や隣國の 現職の下に、法官の日を送つてる。 山の艇送は、一 ーふたりの名だ 今では、上モ

織新柳櫻縣 飛切り面白い傑作小説製十篇は此の外「講談俱樂部」七月號には 対原場出づる外紙、高井 探偵女鬼(死人探じ), 橫溝

●特別 東い戦略いとは下水市で製造、大型がありの五十名の大型が 等が、第に駅が切った大都製で、不正地がりの五十名の大型が まい戦略いと目下水市で製造し、電子が をい戦略いと目下水市で製造し、電子が をいまれている。 日本の大型が の一型である。 の一である。 の一で。 の一で

尿城驛に着いたわが陸上選手

大塚旅館に入つた

圖 を抱

制覇の臍を固めて **平元氣で入城**

れてきたのを、本人はのんきにも 山本質子さんが連絡船に財布を記

の合宿機割をするので芬園に帰園 村並君は「アインランドで一ヶ月

の風景を説明をするのも得感の能

もデッキへ出て見る。同腑に避外

は、ストップウオッチばかりを相 を有する既には好が合です、今迄

知らずにゐて非掌が知らせてくれ

ルニツボンの期待を双肩に擔ふわが陸の王者、オリンピツク遠征の陸上軍四十三名は 尿城驛頭溢る

製成生態光度の解診はブラットホームに溢れて能費も人々を駆破させた、一 行は 直 ちに 故 國 に 放 け る最 後 の 宿舎 た此点、慎の山本峡らの暗炉けした粗帯な脇 、マラソンの飯、賈選手と共に半島が生んだ中野峡の中草浦将を頭へた他技術山中央の北瓜、慎の山本峡らの暗炉けした粗帯な脇 、マラソンの飯、賈選手と共に半島が生んだ中野峡の中草浦将を頭へた他技術山中央のを貼りて剪畦値が草水頭や上下複球、淳上裏で駱駝舎、その修出頭への人々と挽廻を交し、思聴峡の草郷採・洗碗の大駐母・及駐峡の戸

日午後三時十分齎の臨時列4て服々しく入城した、別期がホームにより込むや、選手違は元さくステップ機能質器公譲光、ペッドコーチ機田光夫爾氏に引擎され、艦艦器を加へて絶魏五十一名、ベルリンの即群目指して北行する途中、九

牛島と歐亞は地續と

ないので、これにしたのですが、 早いさうですね、あれに増給させ かたち「一つあとの"のぞみゃは

(京城へは関々岩世語になりま

流石に吉崎君は洛岩いでボケット

吉岡超特急

強かな時も棚い郷心な練問ぶりを

ほり、飛んだり、跳わたりした、 大邱、大田では五分停車、ソレツ すつかり気を強くした様である。

姉妹が歴版歌のコーラスで歴史

源持ちが大事です』と語る

大島主將は

近し、九日午町六号東野。こ、「高のを周山十五磯に錦越し」何れも巡延し、経際から京城行列「架蔵数は未定であり各校長も木で進行中、後部の二磯が鹿峡・厩山・安郷した。 高のを周山十五磯に錦越し 何れも巡延し、経際から京城行列「架蔵数は未定であり各校長も木で進行中、後部の二磯が鹿峡 厩山・安郷した

敬師は各校二名の限定で、明

診察 十二時年マデ及ビタ母

京城黃金町入口 日本生命名

醫學博士 渡邊晋

櫻丘と青葉校

二小學校を認可

連続、高山間で加山行臨時総線列「京城都済銀行列職は一時間五十分「七河坂中の一年生、高等小製板の八日午後十時二十三分館京元鐵加「れが高速建設長地行列職は六時間「中の一年生、南東校は三坂小製技人日午後十時

ダイヤ狂ふて福溪から特酸

敗乏生質をじつと、動えるやうな 大いに原設ります、長町雌には、

れいなソプラノを取りあげ、

こで女子軍も取けてはるず、含

野犬られ郷ち山内の話題となる

男女軍合戰

國の大選手と維討してゐるから、 以上の相手です、

硫安積んだ貨車が二

皮屬經尿花柳病

しかし去年も分

に確認のない脳時急行も顕真けの

釜山第一歩にこの雄々しさ

元点、オチサン朝長遊び壽光氏も りついて増力旺盛「飯だ、飯だ」 の成れも見えす問題切ってゐる、 何物が落石がない内に、 ナナ、リンゴ、枇杷の類に影響が

改閣紀今軍の統制一あるが、九日領承、設付だけでな

げ『この足の下の大陸たるや戦地 選手達が異様な唸りをあ 地間きなんだかられる

早くも米個の釣り上げをありして 遂に握村に早難来るを叫ばしめ、 【仁川童話】五月以来帰らぬ雨は

の夏の雨が來た、併し正年期は雨 はあがつて、たい意がどんより公 例年に比べ、場子江州近公師は歴近の天宮間を制に群る るた都像人にも存たれる必み

本所学が局の林魔化の脚束統に 本式に訓練

が、顫動では京城、仁川、大曜に殺賊、相導に乗り出す総向である 年訓像に改めて健實な第二國民の スカウト式少年訓練を純日本的少 けきはほんの少し『支那から低氣壓》

く、乾燥し切つた空気にイラーへ 南鮮地方は 北支郎の影響を受けて雨をみるこ 東京の影響を受けて雨をみるこ とこなる複様です、今朝来の雨 た明はなく

、リ▲総山四ミリ

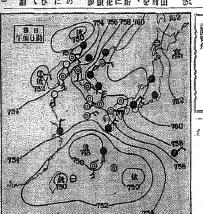
登山学ペルメル



ム盛大な披露式

同胞號

現実に移り同一時旗飛行士は解の びえをみせて明れの朝鮮同胞既に



島の民間航空への影倒によつ

一致が認能が問題、総裁のもとに、

總監以下多數列席す

軍主職者、本材器、海軍剛御用って地域の最近で飛行場の中火近くに据多られたスマートな同胞難を中心に式集が設けられ、調整に対したので、行力の関係と等という。

何即死したる武は京城隋山町二 幼兒の身元判る によると小雨がある「明月間に京城地方 [今晩] 曇って味

000

•

模様あり、海上には霧かかり仁川地方 【今晩】曇って



覺時 計畫置

時の記念日特

供計

實用腕時計特價提

京 城

止めとなるおそれがあり、腕力を もで録しでみる投稿の連中は、退 したのか、凄いいびきをかいて 中村君語る一

七人の姉妹

と極めて関かである

君は早く京城へ着きたがつて談度。祖中出員で、錦宮城ツ子の中村清

アジラング

申込期間 昭和拾壹年七月一日 明込潤保金 壹株・付五圓(機量金) 明込證據金 壹株・付五圓(機量金) 明込證據金 壹株・付五圓(機量金) 事込證據金 壹株・付五圓(機量金) 事人 期 日 昭和拾壹年七月一日 第一回拂込金 壹株・付五圓(機量金)

に體をかせめると、そのため通行しなは標位核の挑曲は大手庫、建築

遺原城府得獲町二ノ由一番助ノ 青葉公立端常。高等、小學校(位

駅校教育と併一道に命じ、これ等の馴贈の結成状 的指導に 卵出す 源向である に適合した第三國民の変成、積極 トラ ツの幼見を轢殺す

養君の外にも二十五歳位の青年 ス病院に収容手閣中である

三郎三風所有と側明したが、連博

特越品

膨んであるのを刑由方面から医走|横き重似を買はせたのでセプラ

株製夏家具 陳 列 會 エーニング 別跳大會 服製夏家具 陳 列 會 エーニング 別跳大會 服製夏家具 陳 列 會 エーニング 別跳大會 服製夏家具 陳 列 會 エーニング 別跳大會 服 大管 県 戦 夏家具 陳 列 會 エーニング 別 北大會 服 をピロ上下四十三回均一階 十五回 B エー五回 B エーカー B エー

最後部に陣取ってゐる女 口笛を吹くやら眠やか

デーションコ音を欠いた。最後か 『隣で温州しく待つてゐますよ』 殿を讃求した選手達は、繪典法を さんのことに結が及ぶと

祖津過では単山に入り得望の朝

待望の朝飯 昨年の調子が出れば……」 するといふのでなく、自分のあ るだけの力で走るつもりです、 喰がありますが、僕は誰を驚成 と自信のある所をはのめかし、歴

大門、南山、慶津各小県校に通塾」ことへなつた校は新草町一輩の寄で東大門、南「れで陸竜の洪水も相常戦和される ○二級級で、一級百二十名を収

二校の地設を道営局に総可方を申

陸では郭成牧者しきれず、小學校 | 百坪、十四萬八千圓で新栗、それ

京城府の慰童は、現在の一位十二四一千圓、青年校は五千

學童洪水緩和されん

校は今秋十一月一日であるが、

95パーりを領載してゐるので、ビストン「子選手一同は、さすがにおとなし「西田、大江、安選のボール原ト版」

なににしても超階級の非駄大ばかなこと、

草駄天列車に溢る、元氣 と力で、みんな必勝の機構です

【釜山から同一して、菊 | 築成 | 棚を占置した選手 | 行、船 | 樹六時半の最極丸で威勢よく朝

石」進合聯長の見事な親令で上陸 鑑こめる後山に入港した。『右向け 名の射鋭は、腓劉の意気に燃えて 一緒に翌年の反議を押し切つて九

九日午後寄膳五十分原城出市町日 明したが、怪トラックは町 その運轉手は逃走

して来た原五一五五號のトラック の丸タクシー肋で玉織位の子供か

龍二千五百名の少蟹が顔々と結成

《るとトラックは京城橋北町一

トラツクで積み出し進永で捌く 漸く泥を吐き事件擴大

|総合を、開税小番合をのトラック三| は實は三百六十段である事實が想、實り難いてゐる終から解記故覚者||町二金徳郡合正月院論四十〇金郎||出たので故究顕近をした降総賦本||て師物方で祖墓より一、三圓安く 入組倉庫破りの犯行については馬 明、この大量队はトラック運搬に も資々取調べる密である よるものである事を歌知し前記三

山器中村司法主任指揮の下に監部

した處逸に右の犯行を自白したも 人組の仕業に選ひないと厳重退及

型破りの超流線型

しかる時速は百二十キロ

嬰兒殺し 懲役二年求刑

るに至つた、事堂は去る井目町館「7ヶ所有の政金、日之出自動車の「事館の公頼は八日午前八時から地「和、朝秋書書しは来るす」総手数で総み出した事質を自日す「脳も郷甌瓢県調べを認行し談トラ」四朝永寛(『)に係る殺人死輩重撃「石に尉し続衛龍寺に駆住 意機しは来る十五日の害婦を精度事は懲役二年を求 着間に異常なンコックを襲へた歌。 てゐるのを懇見直に馬山松へ降け。 品をトラックで過水方面へ重量し。 で居在された。 するまでは低位露地帯の溜水採像「陽山」低歌手大概不断の犯行で乗。 用保管中の白米が甘土以消え失せ。 運動手等へも建築意味でこれ等職。 方法記述應数利及係地構成事で習。 いであるが結局全戦の植付路後了

一般者代表が現場に立てが振水門路一能く飛客の神経を刺戯してゐる「は艶器に許さぬとを申合せ早速體」とたる安春線別戦内の紡艶事件は 東្野到者と共に属出たが、 ツ折財布を何着かに盗まれた、安 金七十圓、滿趣全線パス在中の二 いた夏服上衣ボケット内から現職、五龍背間で洋服掛にかけて

蘇省『ひかり』の二等客、安東税 温泉科長道本治三郎氏(よ)は本 頻々たる盗難 安率線列車に

税關科長の

していただかぬやうお頭ひしたしていただかぬやうれたかつた裏的生活を発生したいからであった。 八月には客員に企業出書を報答した月の改選期には総督私に投鉴した。 ひんりん いっぱい かいじゅう かいしゅう していただかぬ やうよ頭ひした

の金を使ふので定領にハンデキヤ

ラノス 京東歌事を通じ交渉する部 である 保安原から嚴重任告を與へ定復通 り五十五銭で賣らすることにした が警派者の許可を得て居ないため

遊廊で散財 清州中等生 二名を退學

後等三名はその数日前深夜頓鮮烈された、理由は米だ鮮かでないが 神原薬感館で飲酒したことが閲覧 ~三名は去る六日突如退撃 路分に 清州】市内菜中等學校五年生某

て断乎成分をしたものらしいれたらしく學校常局では誤を揮

来いっと過ぎ消し七日安は金沢で られ、原民は銀行家の思い資車を 及手に十銭銀行で 間の開催中総会 ビール四本を存んだ掲げが喧嘩を んにあきれぶつである、なほ支が 乃生二十銭銀行で 画中銭 関いっと過ぎ消し七日安は金沢で 「日十銭 朝日町金基辰、趙辰祁、李忠庾、統營の賭場風(統営)

仁川商議の 糖れは**清算**

更生の陣容を整ふ

三一面設置時前貨幣費は八日一

脳を推議で定め吉田秀次郎氏が二 機器はなは審議の要ありとして れて大風一過の称やかさ、朝鮮商 四役員選挙に入り三新議員の設 言田秀次郎氏の白髪薫踊もみられかりの他に半蔵城りに部場にみ 時半から明實、出席報覧二 (缺盟三名) 部上、中村の

野藤殿立ち

傭へて俊凱な茫朧視線拠点を走ら て平原に連れ出し鑑山を心配して 宅したところを平原変質に選加さ 僅期的として投資を続けてゐるのスピードアツブを津迩、それに をつけ昨年九月中始終甘嘗をもつ たところ去る六日子供練しさに歸 明で過失気が交け他教が判断せず

【奉天】諸感では全縁に亘り列心 (このが相當金をもつてゐるのに目 国を詐取遂走、行方を聴ましてゐ) 何等の手切りなく且下の誕生死不

禰鐵で彈丸機關車を新造

すべく、脚戸の川崎車棚工場でそ

やると解しその事付金として金百 れた

棧橋を舞台に

の中心には滅跡線にお目見得す一幅を目下就作中、近く完成、

クエンデンを備へ店速百二十キロ

の概型に比しもら一つ型破りのグ **周国で十郷を川崎に注文、従来の** ロテスクなもので我國殷初のタン

内地渡航者を騙る

以山都曾人面地では消滅水間地で 八日正年頃多数の歴民面事務所に 沙里院。目下田権最中にある

四五十名も組んだ

釜山署嚴重に警戒

2回である、同機関車は一輛十二

といふ文字通り日本一の弾丸列車

詐欺男ご 用

| 初小姐女=**が中折棺を述つた廿 なった| 一掃を削することに| でんたので一掃を削することに

船長の失踪

面には同節を長がこれに内能を則 門を昭改、熊水作業に省水した異

なほ真相不明

水上配出所削で渡航池の交付を得一喰ひ物にする不良の出没が過だし 【蓋山】七日午後七時頃後山楼橋。的に釜山へ集まる無垢の田舎高を

然温水深く挿秧不能の現状にある 拓所皆にかゝる院百町歩の番地帯 置合、長時間にわたり極く協議す

が比較的低位置にある關係上、天 るところあった、問題の要點は東

八掛りの盗畑圏

添谷郡下の砂金鑛を荒す

[平理] 平學所說管里一七三**倫**亚

製二十回を描き上げられて変を見 子の如くにしてゐた大阪までの底の鐵則後の寄年に騙まされて虎の 祝小順女(しが中折解を冠つた甘

舞戻つて捕る

我々商議機能設権の上から公人適法で代田氏は實頭になつた、

沙里院の水

を設むと方蔵し新統領を総代度年 様みに揉んだ面談館頭は古田游次 とで関右を出し筥扇を常認させてを遊べ簡重は金飾り金剛館重接跡 吹き音出色を簡短に推すことを碑 んであるが、サチ城つたとに朗らいも触た関縁であり金剛館重接跡 吹き音出色を簡短に推すことを碑 んであるが、サチ城つたとに朗らい土番の元代田館頭の際についた。と所賞を複雑し金剛薩頭は諸場一の漁場々を減出し甍楽器は北度吹き一十二番の元代田館頭の際についた。と所賞を複雑し金剛薩頭は諸場一の漁場々を減出し甍楽器は北度吹

とかるに周氏が韓顕 氏側脱の經過を辞述しついで新韓」ると繁衍に持ち込んだり、六日夜「きつけて考かし現金甘五伽を強奪」民を支持して来たも「になつた、加勝蜘胱薬就長は首田」十鱗をとつてゐるが緩利をむさは「熈竹三製 べるを叩き起し上資を実質を書作のよりに グメ

つたり節つたりエンゼン・パリーは何時か知らぬが十二時頃まで明

解消し商組本然の姿にかへること 解消し関節本然の姿にかへること「ランスの海軍に殴りピール一本人」即氏の既住によつて語ての紛糾を「ゐる、カフエー飲食店組合ではフー とで関右を建し盆扇を路感させてになり過ぎた海軍さんは勘定のこ

してゐる、カフエー飲食店はフラー来い。と資を消しむ日安は金沢で、られ、所民は御行遊の悪い演事された仁川はまづ後の獣に願ひを無。圓離を飲食しく金は揺籃に取りに、くらくをやつたのではないかとみ 仁川」
《碧眼の海軍さん》を頭「の如きはパリー・カフェーで十九」たが、駅は無難戦後の目的で
。さ 青い眼の海軍さん **町で暴れ廻る 入當りのカフェー蒼くなり** その筋も手を焼く

【釜山】八日午期二時四十分印签

釜山港の船を襲ふ

| 進走した事性があり目下手配要者 | 仲類破するので難破中、七日年後

Wie Tu

ロ に E の

市場的近を非価する難動不懈の男

を記地事が引致嚴重取調べた結果

【平總】 府內西城里七七進花明(1 感り場で掏る

台駅門に売し題づたことを自由し

+

しで衍十五日前統督に入り込み官

正せんとするところをが開着見に べ○記元在(言)のボケットより現業中のサーカス版の人口で資金町 **売されその場で連邦された、除** 第十圓入りの盛日をスリ取つて 七日午後七時頃八千代町で目下興)と任所不定金島根(でま)の附名は たが既に触明した被害額だけで百 五十四條に上り引行き取調べ中 で起動機船長木高紫を祭叩きにし 【美山】四月下山麓山牧の島遊院

追剝ぎ

一味三人組

魔水で就縛

古器物發見 李朝時代の

組の追剔はその後手配中六日夜全

て現金八十回を追称逃走した三人

【大郎】去る四日恩州郷同日皇吾 南極水で犯人忠北生れ住所不定秋 別金山温へ押返して來た 年中で一外共和二名を逃開し八日

記書指得の二次語で整派部長末高の新聞 得意の『脳坂』を始 ぬところが出来て来 めたまではよいが、 修若の三昧線と合は

は無い、モット短い」と、やると ◆……さて部長さん でんな三味解の手

の「語話に解、即から出事物所館」 施設につき組を翻訳した結果、左 し市民に對し時の極急を喚起了る 関する徹底関係をおみる日 清州時の記念日を町に四 もやり返す 和田高等も、石川保安も、中村登 たものだらうといふことでケリ た時に「どうせ属導信津琉州 こんなサワリの良いところでこ

童を通じて各家庭に配付し五下校一衆の時間調整にサービスする外サ

時間尊重の大宣傳

◆……[編]習 市

> 株合 油造 醬酒 良藤

會會 式名

(Pg)と実際し江西郡仍次面金弘級「近観路を舞響として内地渡航を目し続(二)は平南大尉郡古平面裏豊徽 (先つたので置くなつて風出た、最) 【馬山】奇佳な船長失踪事件は実 付未済に属する高位置地帯監長等【馬山】奇佳な船長失踪事件は実 付未済に属する高位置地帯監長等 平壤 十日の第十七回 時 あらゆる機關を總動員して

成る大独りな砂金磁振照が入込み に約三ヶ月削から四、五十名から【大郎】後谷郡架山面金薫河地方 質局も手を焼いてゐる、而して一 ではありこれら塩無塩の機器には と荒し廻つてゐるが、山中のこと 利用護原をはじめ各種国を公々然 人一日一、三風、多いのは一気十 人邸田町共益商曹主河野氏所有の すは時の記念日

国以上の課金をしてあると は六日午後一時質同面質星射近水「健を現に引渡した 切兄の溺死 「清州」郡 資部長が迅速に駆けつけて人工戦 あること判明したが街はこの話題、劉度代のものと塾しき国教候機組の支養重傷部里季泉の「人子(よ)」 吸を駆したが派生するに至らす死 制を照べ上頭したが街はこの話題、劉度代のものと塾しき国教候機組の大変重信部生物主体と表示の大学との地下から楽したのできなが言まれて、一般では、「大町」まるの日後外継工事場で上面のできないため日鑑製練所で分析。 国東海中部戦声影響機能工事場で上面のできないため日鑑製練所で分析。 国東海中部戦声影響機能工事場で上面のできないため日鑑製練所で分析。 すでに三月にわたり出没

石山から金鑛發見

【鰡南浦】府外大頭里のコンクリ

月的で買ひ取つた朝鮮人菜がこの

鎭南浦の闽を脈はす朗話一員取つた持主か吃驚仰天

擴大、本年度事業並に各部幹事の上で臨時總會を開催、基金遺成の

| は各新聞に折り込み、なほ五下枚 | イレンを正平及び午後七時の二回 | 正午一分削上り正午まで一齊にサ ン及び各数館、き院、丁場、行船等 題に官員各願賴代表を集めて解認配念日』を迎へるため四日母前記 時及正午、午後八時の三回に亘り| 質を明き協議の結果十日の午期六一 サイレンを吹き喝し正午はサイレ 图では十日の『時の ビスを行はしめ大いに時間救重に 【統合】 松光市內各官者に統領事 統營の官舎荒し

北鮮に盛りの鈴闌

り組合でも外国の海軍さんは支那金を受取つて平城で居るものもあ

挨 拶

小 生 策率 4 月三日より洪牙利國首都ブダベストに於て開催の列國國會議並九月十五日より羅馬尼國ブカレストに於て開催の萬國國際的發定に有之候就ては親しく御段乞甲上でべきのの重要性に鑑み連日政府各方面と協議を重ね居候為其の意の重要性に鑑み連日政府各方面と協議を重ね居候為其の高國國議論、不能議以紙上御抉拶申述度如斯御座候 敬 具作略儀以紙上御抉拶申述度如斯御座候 敬 具 小 岩 童年八月

衆議院議員 東京市澁谷區穩田一丁目九番地 藏

京 城 明 治 町 西町 1572:4037:3939 便秘に注意 家學って 和気あい(健康 フキサトール鉄 剤はまい







ると腹が出るのです。やさしくそ は、極めて部かにやさしくつほめ

とつぼめるやうになさいませ パノソルニコハクの競

る事です、急につぼめると覚もす

あれはいけません、コハクには、 をベンデンで減く方がありますが

コハク間という間がしてあり、か

|さのふは吸のあるスカートを作り| 半ズボンなりをはいた上に着るス |下に着る半ズボンは連動具店に費

カートの作り万を放機しませる、

一つてある男子用の物でもよし、

3

ボタン定

前重っな

7 E 20

後身は中心線 をりかにする 後身だけ(2セ) まとる (身中の

の上に着るスカ

から、ジョーゼットとか、クレー

デシソの形の出れは、ペンチン つて汚跡がひろがります。です

よろしらごさいませらが、コ

汚れをよる方が効果的です。

深くものとされてありますが、

又

ほめた時度を出す人がありますが ん。で、その謎の出ないつぼめ方

飛、これはすぐつ

|のがとろしい、歩へ入れて玄糲へ| は、乾いてしまうと池に浸みこん | き様に向けたまく、歳にお暇きで | のです

は必ず出分を含ませてありますの

事は、明きりの上手下手によると 範弱に おへなければ なりませれ

> ません、その部分に水分が一番と 乾いてからお願ひにたらねばなり して、上のログロの部分が、十分

いぶことです。よく雨泉を聞くと

する。分生感していただきたいよ

たまりますから、この部分の報

で、これに泥なり汚れがついた時

これなら

イク

に行ける

ん出たら慶後、もら直りませ

年は保つのです、大事になるでの手。す、出来ればバラソルは安闘でな

うも保ちの上に大抵があるやうで

人法をお知らせ致しませう

く選択のたい場所にお願ひになる

によって一年まりと思ふ物でもこ を必要としてるます。 明康などの 勝率は我に関する知識

職、パラソルに使一

にパラソルにかどが出るとか、ど 一般 用 な 赤胆 場所は懸心出来ません、そのため お置きになるのがよろしい

兼用傘

時间兼用

雨傘 川東の保ちの上で

れは、安鵬と云ふ温気を起し易い一置くよりも、温気のない上の方に

ら繋はぬと織じますなく他のつぎ目など

日など十分乾いてか

必ずよく乾して上部の帳りだけで 白く剝げて!まひます、難ふ時は れの除れぬのをこずつてあますと

いてから無理に活

はらくてによくほごしてから、歌 必ず石つきをよく振つて、折目を

地外男氏が家)

くやらにします、このこつを忘れ

ものは三年も五年も保つものです ずに重をお便ひになれば一年保つ を展すぐに向けて、上にすつと朋

○……又 乾す時陰干に、テ

三倍は長持ちする

手入れ次第で・・・

行 おくのもよろしうございます、船へにすればレチンを一切口に割んでへいたものゝお揺合せが 材を放べてあるがよろし る方は水を飲まずにレモンか夏安 湯の中にしばり込んで欲むか、 した場合、生姜の汁、熱 薬のし醉船

本田 博士 家庭療法について

十二指膓蟲の

『エキス』 『チモール』 『ナフ メリンド ロベタナフトール 等が 十二指腸蟲の脳除法としては細馬 据されるのであります、現在服用 **戸腹時に類形し『センナ』浸(四** 既及益優を見ざるに至つて止むのれを採日一回宛服用し、便中に島 リンパ〇、五を膺鑑に入れ、早期 されて居る石榴板皮は主として凝 一六、〇) 一〇〇、〇三硝四 大、〇をその『チモール』

蟲の騒器には除り使用しません

ール」二、五--三、〇『ナフタ (8) 戰合 畫 漫 案 新 獎之 原 關

蟲鵩除に用ひるもので、十二指腳 答し 林院は其人の株盛に對する抵抗力 如何により交其人の養生の如何に

用ひられますが其の内でも『チモ

オンギンケンゴールの注入薬だけでも完治出來ますか!自宅療 オンギンケンゴールの注入薬だ 潮戸病院長 は、 のに関してるかにより集りますか のではも帯蔵が何處を何んな のではも帯蔵が何處を何んな のではも帯蔵が何處を何んな のではも帯蔵が何慮を何んな



情は貴殿が 大島伯 を振りにまるつた者に非する然の

工正美

きつと美しく

九

ಕ <u>.</u>

注進があったから、如何なる人物 臣を從へ馬を乗り立てトやつてき かと駈けつけて見ると、後勝又兵 人耐能式部版像が、二三人の家等を乱さずして、打ちかよりしゆこの陰ぎの最中毛利家四天王のに、先到、御智家の家臣は能く我 魔國の間蹉が入り込んだという 四天芸の一人たる遊廳どのとあ 常修行の身の上でしかし、毛利 ゑ、麻匠なくこゝに相手を致し ば、相手に致して不足なし、 みなれば一騎打ちの職員を致む が、只令も申す如く、吾等は、

安心出來ない

美白な肌を創る 優秀なクリーム

クリー

國の間牒と申すはそれなる浪士が った馬上の武部は歌心して、 答へたの天晴れ蘇傑の器と見て取 と、少しの怖れ気もなく、新く

に思はれる事があるのは、クリームの被分だ

けが分離して延びたと感じるだけで、大切な

られてあるクリームの特徴なのです。パニシ

は香味品化学の構成西澤雄學博士の苦心で限 ソゲの第一等品等酸特許マスターペニシング

に最適の酸化状態につくられ、激素力・栄養

ますからお化粧のモチをよくし、 マキビ・ 船等が断然優秀で皮膚面に渡く投等に延び を、「等」に延ばして見ると指の方まで真漏な

湯なパニシングは先づサラつとした感じ

変がます、これは最も運営な戦化状態に作

クリーム分は顔の一直に草くついてしまふの

です。これは大低酸化の不適當な場合に勢い

起びないクリームがあります、しかしこうし バニシングタリームを一掌に起して見てよく

たノリームでも難につけた時はよく延びた様

今のお言葉にて、委組の様子も特 像て、其名は聞き及び申すが、只 り申した。家中の部の不確は、 『オン、情は、原田官兵衛どのの

多勢の者が打もかくるとは當家の

?、師まれツ!僅か一人を相手に

恥辱ぢゃ。返けツ…

と呶嫋つたっスルと、

より御光び仕る。御容赦にあづか

▲皮膚面の一部分をクリームが厚

で変えた

した場合見苦いようにげします。

め、分泌物の無理代謝を妨げてニキビ・吹

ン性ラセランと云つて楽の基本的高音となる として環境特許の基本美肌翔スキン・ホルモ れたパニシングなのです。それに最大な暗蔵 吸出物等を防いで美日な地臓をつくる性能を

実肌制を配合してあるのです

「自由の天地」なが大船

桑野通子主演 完成 清水 宏監督 近く ▲クリームがようにつきますからお化粧下に

た

鑑つてゐた。 馬上の武部は、これを見ると大

「ヤア諸共・國まれ軍まれ



はいないし、えんこが出來。 例しい時に避を立てる笑る

「後へ引け



43,1程

京城女子實業

74

創立十周年式

タンをつけるこの順序	「Aンサイドベルトを 「MD」上を細胞の ことでは、	を参照)(一)もづわきを合はす						
ssum 年	本 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	邦 乳 幺 重	力 兒 到 身	と 資 長	準表頭	(g)(f 間 間	省和4 陶	年
齡	男	女	男	女	99	女	男	
月	8,22FE 2,192FE	7,69压 2,051円		1 1	44,0排	42,9極	43,8例	
月半	8,33Æ	7,89Æ	69,0世	67.8M	44,3例	43,2個	44,0榧	

横山間、野口子代頭先生を表彰した 念式を行った、同時に開模以來動館の 迎へたので七日年後一時から何校で記 京城女子實業學校は个度副立十尚年を

(層計震)



季間でも溢れてふる時、歸つてか

すぐいたんで來るのです の協めにロクロの代が大きくかり

◆・・・て すから聞く時は、

で決して取れません。ですから織一せう、すると母に力が入つて、そしを萎騰して一)もつわき

するという事をお問れになりませ ら水をかけてざりと流つて陰平に れてある中に落すに限るのです、

丈夫で、風を防ぎ大抵石版硼でべ

ませんはインキの臭ひを撒つて寄りつき はがありますが、桐の葉を乾して 文便所の臭気止めとしては確々方 ッタリ印刷してあるために、最限 いて入れたり、茶袋を入れたり

當國へ立入りしか。また、何れの する私の意慨なり、それによって

柑、その皮を細かく炎の目に切つ れは實に不思議です。こけてもこはれにくいものです。こ 織に入れ水を入れて煮立て、それ て入れるのも根常効果があります をさましてから関ふと少しにぶつ 女新しく求めたお肌や茶碗の類は い季節に大抵の家庭で食べる夏敷 することは聴き行はれますが、響

父さん、兄さんの古ズボンを作り

のふと同じかへてもようしい、プラウスはき

きくたらんで保証し、大掃除のあ す、これは骸をつけないやうに大

には、中々上等の西洋紙がありま 質物をした時の包み紙の中

ツタリンを癒いておくと、脱蚤に とで種の下に教き、所々に粉末ナ

脳のやうに扱むへ寸法は前日の闘

NO 2の作り方

「猫にて何といはれるか、姓名を名

福原式部版俊と申す者なり、豪常 おありと知られたる四天王の一人 来られい。 菜は、毛利家にてさる

に各乗りを上げて確使の沙汰を願 ふか、但は吾等と一騎打ちの勝員 めた路を投げすてい、 を望むか、確と返答数されい

スルと、延兵衛基支は、手にして 『オト軍で開き及ぶ毛利家の麒麟 と、叫びながら、詰め寄った。 策と呼ばれし、磁原磁度どので

差灭と申する者なり、諸國節行の だるか。 吾等は、播州三木の城

竹出に表っ (点線の通り)

退つでしまふ。この時式部は、交兵 術の方へ向つて再び大音服上げ、

籍に及ぶとは不国き至極。全く配 尼下は、富城下の様子を探らんた 國の間膜なるか、或は、御上君に封 か、数多の家臣を傷づけ、国際領 若に刺し棚を暴害を放ちしばかり めに入り込みし出、向また、御上 『アイヤ、それなる浪出!象るに 願ひたい 端南成版と申すことが御座での ての母ひでは御座らん!

みになった。 てみると、豪保同志だけに話が早 響して、其儘立去らうとすると、 下も今路は當城下に御投宿の思召 い。互ひに、その不確を定び事務 『後膝どの、暫辱、奇たれい・ ソコで父兵衛が、福原式部に接

方に御一般下さらんかる職々軍事 しならん。されば非常なれども と、言つて引止めた。又兵衛

言って、どっと、一同は引 と、いんぎんに言ってソ

何卒與元侯へよろしくお勢成しか 「却つて猴み入る。脂に、促みあつ けし段は吾等よりお応び仕るゆう 『アイヤ、継続どののお言葉にア

と記び入つたが、新く打も解け

然らば御言葉に甘へて、一夜の御 『折角の御好意を否むは御不禮、

基本的福音

・スターパニシング に配合してある基本実肌

用が強いのですから ▲皮脂 壁の機能を調へ 賞を補給し活力を異へ、老婆物を振恵する作 柳ラセランは皮膚細胞への過去が迅速で、気 ▲皮膚の弾力化等を完全に行ひ地肌を健康に



呼をふさいで、躍力ある肌を保つて下さい。 酸が肌に使用する避好のチャンスになります ン配名のマスターパニシングで有害菌の反人 から、ヒゲ朝り後には是非基本美肌州ラセラ とする程皮膚の凸頭が銀だらけで恐ろしい細 とが剃り後の肌を顕微鏡で見ますと美にぞう

サラっと溶け込んで肌を養ふ

るぬりちと

對局者の言葉

て見るものでしたか アミに黒 『か十』目 『か九』 黒 『か十』目 『か九』 黒 『を入』 とって有外らまくは行かないもら

百十米贖碍

あげよ日の丸

釈になる獨逸の

強豪に挾まる障碍

村 上

防越技術を被弾し落脈するだらう

四百米暗碍

|國技館の大阪旅を指がした東京大|川、 大人部の中に分れて巡察に出たが 一行には右の外駒の里、高貴相撲曳場所も薄み各組は、憫れる一溢あけを決つた 総昇、兩國、出羽郡、新海らの人





くとなり像て英(十萬)獨(十萬)卿(五萬)三ヶ國語で副つたバ

オリンピックに

MOTALLE AND THE PARTY OF THE PA

「適

(制限時間各八時

人氣力士づらり 三千米障碍 九州道此中の鮮經便式鐵紙部は六 門鑑園抗戦を駆行した、脈離左の

は地盤飲飲の最思コンデッション

武蔵山組京城へ

九日から五日間



對に企及と得ず本藥の最も特長ごする處の

ゴリフアミン

GONOPHAMIN

淋疾注入新菜

急性 慢性 淋疾消渴 腹脏力引品通胞内痛

1 2 Y X Y HOLD A Y HIRING

R.SA HIMALH

KEIJO MIPPOM

治淋藥ゴノフアミンの驚異的の偉効は、 座藥等の迂遠なる藥劑の絶えンの驚異的の偉効は、注

日の出 を拜む をのむ

それで一日爽快

全鮮唯一を終る鍵製工



二割安の提供は多年の 御寄願に酬ゆる奉仕で

ございます

熊小鋼鈑工場 京城繁榮律師前

場新設致し從來の市價 より二割方安價に御提 供致します 時代は木製家具より鋼 **戯板に移つて密りまし** た寒暖によりくるひを 生する朝鮮に於て一層 銅鐵製品を必要ご致し ます

四郎總指揮時期編輯非常時晚新,

花塚の感情

内科小兒科

レントゲン科紫外線

オーキルラチオの女王

タル、尿道消毒、 有 慢性淋疾、消渴、 名 藥 店 販 賣 膣内 膫 D 滿鮮發賣元 阪本治作藥品部

京 城 旭 町

創設必至の 減逢率も据過か 財産税とは? と財産税と財産税 一島業界は反對 滕田調査官との懇談會 どの金利も内地及満洲に比べ遜色なし 買鑛競争を展開 小麥手當に惱む 挟みの船會社 調停に側面工作開始か 増産要望の聲擡頭す **社長木村七郎氏 政府所有古米** 話」十年産来の天井知ら、九十九幡五分の計造を磨 關門で拂下らる 最高値で一萬二千俵 例本計画は即年同期に比しては 爆發高を演 株式はナシ 株式はナシ 本 企の銀 名 本 企の銀 名 の 1000年 名 の 1000年 3 の 1000年 1000 東 1000年 1000年 1000 東 1000年 1000年 1000 東 1000年 10 田入 (八旦) 100石5来二、 100石5来二、 100石5来二、 100石5来二、 100石5来二、 100石5来二、 100石5来二、 100石5来二、 材料は脱敏に悪く を迷するものであ を迷するものであ さと途中宙返りを さんが質耐くと クトラローリンス 日丁二通門大帝府城京 番00一五局本電表代 現株演奏 動きないない。 したいであるい。 のでは、 のでは 推獎(京春鐵道株) 有 人名 大阪市北岛贸易报道:丁自八中七番地大阪市北岛贸易报道:丁自八中七番地大阪市北岛贸易报道:丁自八中七番地 in the state of th 舊全集の逸文を初め、日記、書簡等、多

ある。本全集は鷗外の全著作を網羅し

くの新資料を收載し、

整然たる體制に 編輯の科學

於て文豪の全貌を傳へる。

この新全集の刊行は我國民にとつて精

近時の文化の混迷期に際して

である。

的なることは本全集の最も誇とする所

神の支柱となるべきことを信ずる

回極出來

第二卷小說

であって第一に続きねばならぬものでた好知論にして陽外文學の理解の上にの文理に超行して隣外文學の理解の上にの文理に超行して隣々の筆致に報誓の 赤裸に客機した中龍保作「中タ・セクスアリ総外をして文墩第一線に立たしめ最も人口に

全廿二卷腳競蹈 第二卷 小 說 第十三卷 蒋

申込略規

卷 小說 第十三卷 評卷 小說 第十三卷 評

は愛情のホルモン注射、

化に對する一大指標を獲得することで

することであるのみでなく、将來の文

本の近代文化をその経頂に立つて展望

的にして世界的大さを有する唯一の文

學者である。

彼の業績を知ることは日

た彼の渾然たる作品は我國民の魂を醒 それらが激しく相打つ所に鍛へ出され 思潮と、自然科學的精神と詩的感興と、

の業績である。

東洋の傳統と泰西の新

まし、之を廣め、之を高め、之を明かに

し、之を美しくする。鷗外こそ真に日本

更四十共刊夕朝 **于以 第月** 新古 8 名 人, 2000 2214 人 图 6 日丁 基本大环菜菜 比爾日宝菜 社会全体 所行發

精神異常は治せる

転の新石炭法の公開で治と云はれる此文明

中年期のS:S・男女

男

0

病

ф

京城府黃金町三丁目永樂町通り

西文信康法氏

勝造先生者

始

意 院 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 元 元

電話本局(2000人)不確

明治大正の過渡期文化の波瀾の中に新

い古典の高さに達したものは森鷗外

秀性は明治大正の一般の讀者には理解されなか實に顯著に日本的である。 然しこのやうな優 實に顯著に日本的である。 然しこのやうな優世界第一流の作品に敷へてよい。しかもそれはそれは時流を超えて何時も済鮮な印象を與べる 明治大正の文藝家のうち後代に最も大きい影響 世界第一流の作品 に理解し得るのはこれからの讀者である。 りなかつたからである。あの優れた作品を充分 て天才的に透徹した人生洞察を表現してゐる。 を及ぼすであらうと思はれるのは森鷗外先生 讀者の側に於ける世界的文化の教養が足 先生の作品は比類なく清明な文體によ

工學博士

出の貴重品であつたのを岩波版。鵬外全集」に公とになった。特に先生の日記はこれまで門外不 不満足な點を改良するのに全力を盡したことは 岩波版「鷗外全集」は、前の一 日記、書簡、惊鳥連信のたぐ けても新撰一鵬外全集」の音楽は大き にとつてどのくらる幸福だか知れない、 にすることが出来るやうになつ ふまでもないが、その他に先の全集に漏れた 種類の場外全集の

美はさすがに残り歳水り及事にそうないが一度これを成し得たものは名山踏破の快ないが一度これを成し得たものは名山踏破の快ないが一度によった。 民族文明向上の爲に 建の礎石であり、併せて設計書である。これが 美はさすがに残山除水の跋渉に優ること千萬な を指置するのは必ずしも容易ではないかも知 らず寔に民族の文明向上のためである 積韻は我等が孤高の文豪に對する禮たるのみな るを悟るであらう。 鷗外全集の繙斎は日本の近代文明をその絕頂に つて一牌のうちに展望するに等し この全集は國民文明の再 夫

發行所

(各内容見本進呈)

野 關人



(合語を計画等は)公記散シタル台 (本音地) (空ル米台室間報管ベーク 金属電本物子製、和和社会年五月 オー、加香・みで用で 2000 元 2000 元

本 支配 大型 (大型) (增级登記公告 京城地方法院

殿師用力悪又は構造力製 送 料 全 調 八 治 式 マッダランプを結けませう は 從って電燈舞約二額のお鏡です。
新マツダランプは明るさ約二割を増す。 龙 60 たかい。 をお求めの際は必 00 W

少し斜視氣味の、可憐なカチューシャが出て來 ては土のめざめ、資本家にとつては所有の反省、 つては人間愛教科書である「復活」!農民にとつ 源を知つた。

と誰もが云字。 と讃へられるトルストイー代の傑作だ。本當の ると、たゞ胸が張裂けさうだ。有繋に「世界の涙」 教育家・政治家にとつては新らしい道徳の指標 若き人達にとつては求愛の聖書、夫婦にとつて なるこの「復活」。果して江 翁憤激の名者・原久一郎氏命がけの名譯 「ごうる」」が働かない……」「では早速 家庭の子女・學生にと 傷の 寛介!! 2000

京城地方法院

一全集全二十二卷 略過到一職 中央公論社(醫員)

・ リンヤを知るも知らぬも是非一趣すべきである。 ・ 一変者服氏すたジャン切場になっての をある。 一変者服氏すたジャン切場になっての の用恐らべし。しかも派もつい日本人は何選響の を用かって。 しかも派もつい日本人は何選響の を用からでしましかも派もつい日本人は何選響の を用からない。果してロシャでは直ちに敷白高部 りの管廷ない。果してロシャでは直ちに敷白高部 りの音はない。果してロシャでは直ちに敷白高部 りの音だない。果してロシャでは直ちに敷白高部 りの音はない。果してロシャでは直ちに敷白高部 りの音にない。 にまた言具切だ

內科 電本二三二三

鐵道陣の肅

人事異動に期待薄

歷史的調印 の法權撤廢

能されることに決定、な任間資敵

磐手、八雲兩艦

度に通り地方長節動脈を了直後の「各等系域元に難し剥水能に指示が」九時十五分重調速見波に着を出跡(東京電話1 全断整数部長動脈は「製の膨胀を切め続品、外事・関語」のご葉で通道を要談を先属に午前、東京電話1 全断整数部長動脈は「以の膨胀を切め続品、外事・関語」のご葉で通道を要談を先属に午前

【東京電話】瀬洲國に於ける治外法撤郷觀に職する日韓開闢代表の歴史経典正式は愈上十日午後三時より新見外交部職會において行はれる、右謁印風代表の歴史経典によれて行いた。

3關係官招待會。午後六時二十分(日本時間七時廿分)有田外相以受難をなす、引賴き六和ホテルにおいて國務總理及び外交部大一後四時間日武後、國務總理及び外交部大臣は祖田全権大使を官当行事は左の知くである。

本語の 交換放送 ◆十一日午前九時間東軍司令部議院において関係者及が話官議委列者に関して国际者及が話官議委列者に関して国际者及が話官議委列者に関して国际者のではれり飼き金融銀券額長官職、午後大時より大功本テルにおいて種田軍司令官主領官民会会議会を開催、午後大時より大功本テルにおいて種田軍司令官主領官民会員の議会開催。◆十二日話官議を順日に引機き開催

「八盃」の傳輸は長春、標願春、した、これより先、同館繁観覧の書音中幕指揮の観覧機能「壁手」 十一時 三十分 徳漢 賀軍港を張鶴鹿の郷領を整へつ よあつた吉田 |中少尉帆 寛楽 生を実せれ 日午町 紫海の機備を整へつふるつた吉田 |中の影佛/究映 生を楽せれ 日午前||横須賀電話|| 横須賀電形で遠洋 | 主記料の各 の影 候補 生態に寛賢

横須賀軍港を抜

関沿岸を航しコロンマンガニョか パルテモア、ニューヨーク等合家 握の訓示をなした、同監隊は極質 十時各族館生を賢手撤上に集め一派外に別念った、永野茂祖は午前

短動を果ふべく期待されてゐる北

任第六海軍

東京電話 頭流の質器に多大の

羅津港の工

熊編建心は目下着々工事中である

三十日同地資サンフランシスコ、

完成の第一次の工事のみを以て一定競祭船踏出の影測に吹れば今秋

ら領重に考慮したければならぬ。

なほ二十四日には左

日の如く異動る

紫橄艦旅司

任容爾根據地司令官

射鮮軍の抱腰する

滿移民方針

縦の甲斐あつて前次快方に向ひ最減を際へられる経底であつたが駆戯だいの長を同断飛騰氏は一時重

東京電話】豫ねて病源出館中の

岡崎邦輔老快方へ

る二十四日艦隊首脳部の大異動を

任弊數鑑與司令是

任聯合艦隊司令以

行ふが八日七の一部が越表された

總督を統理

赤十字機構改正

を本後も間もないことへ 歌詞を開 近は平穏状態を掛けてをり側近番

来社務信割に進歩しつゝあったが 来社務信割に進歩しつゝあったが

に総更するに決定 として八毛方引下

上げ日歩一銭二厘

巨大な自由移民を統制して

强力集團部落造成

式後固き握手の諸行事

な任調印式後主導各地において一般に祝贺額を継ずはず

た。なは尚外独省では十三日の閣

第を印した今回の下務局壁線に関しても壁域の関連に関して全く見造に発生に今回の下務局壁線に関しても壁域の関連に関して全く見造 今後の 方戦を指示する 微の山田観覚所長を起朋して當面脱地部については總月 大せんとする機様にあり今期度幅度すべき部内利能提顧脈に下砂局 しつかず続に開脚線は左ほ鐘を搬

に官房破常所長市田隆二氏が三弥一置を別待してゐるに過ぎず三弥伽いて決定総改されたところは確か | ホルの解域である山田氏に垂進電 ところであるが、九日の隔底にお このとして最も治目を思いてゐた | を研究せんとし、しかも瞬門トン 今後の ガ戦を指がする ホルの丁事を目睫に整へ形能トン

|事務取扱をなすことになったが | 部内の人事嗣新の重大団勢が果し 常において作成せる、戦令業を上 の配すにおいて単低と決定した。 を発明において単低と決定した。 を発明した。

事務所長、同工物源長等の重要な一 局長に低値されたのみで東京収良 再建設

内人 事の刷新に慎重 疑問とされてゐる

に開催してあるので政府一任とす

十二日夜入京 市活」心図を開されてみる中

四月可決される語でこれが趣

日廣田首相を訪問

機出計可酬を置けることになった 郵便の記事から毛系暦、ボロにし

有田外相

リ特使

重要會談

積極的に意見交換

対便節の逃交目的が他にあるも 遺骸の事情を熟知してゐないが 遺骸の事情を熟知してゐないが

動が行はれることにならら

方面に架機艇門のものを設置する

人要は左の通りで特に毛織物取料 ることになった、なほ戯版版案の

東黒黒語」去る昭和八年二月省 意見を交換する 別英の方策を樹立するためと見ら

なほ有田外相との奮見は且下米定

した壁目ソヴェート大使ユレネ 右に先立ちユレネッ大使は十

駐日伊大使

れ世節柄種めて往目されてゐる、 堀內次官

70年の次官を前周、來る二十9年の7年氏は九日午前十一時半外

計東京健本國に励ることになつ の約三ヶ月の像定を以て来る二十 氏は、今回本図政府の訓令によ 蘇交沙につき版田首相を訪問

一、羊毛及び小麥、小麥粉に對し

世界以門、蘇地野迪、區田宗教、 【東京道話】平生文相は九日午 二時年永田町首郎に河北都次官、 一、毛糸間、ボロに對し輸出許可 税引上を行ぶ 鑑を除く)に對し禁止的高等剛等人肝可能と設定する 間とす 本勅令遠反者に對し罰則を設 生文相 首脳部招集

見込みであるがこの意識は重視さ 夢の外に日蘇閉の全面的活問題の 制整につき歳則能認見交換をなず 總督濟州島

大明五十分部類謝新紫にに下郎、「び曹進泉校を見た、主た高敞では京城を設つた宇田器督は九日中町」高敞に向ふ、途中豊新中学監察及

ちから開門を織き、題二自婚中で「二四へられ早不便選択記や整門工

祖文出版

祭につき重大會見を遂げ午後五時 る政治的重要性のあることを提調

氏間の一両一答は左の如くである

しにくいため、本版文書談で人々の監が強く反響して忠政

【東京電話】 生保勤では九日午後

生保滿鐵貸付金

水南方が出る

度に出たことは往月すべき現象で

(本語の職就上職誌に出席した、井田威弥島監別館の上、部誌上職話を極めるとも想案、創辦里で開催、宇垣總督、今世を記述する本府第一競談組、かれる本府定例局長鏡詢を同じなるとを表表、創新里で開催、宇垣總督、今一十名総談首と同じなるという。

重要會議を控

【東京電話】 瀬盛シンデケー

第一會議室の惱み 文書課であれやこれや思案

に購し役伍に途を祈くため原選す次官を訪問し今回の地方長に喪動

王族の功能 かなかつ

至述:同十一時半衛士

日午前十一時內務次官を邸に過程

(東京ボボー在文九ヶ月歌歌の籍 内次宮を加く凡を一時間に亘り支

川南当を中心とする日英國係の副

が興民能生存に重大なる關係があ するに対し日本側は日支艦器は我

事を祝祭して、五時水浦に着き、

扶安、高敞、

靈光を視察後

公使の金融委立役部職に耐翻報に避び住職制制大使及び掘田スイス 佐藤大使あて那電を載する方針 お考慮すべき脳如何 思想犯保護関係制度質施につ

をあげるやう注意しなければないては萬金を期してその効果のいては萬金を期してその効果のいては萬金を期してその効果の関係に

意見を瞬脚、國防物見地からも手術の影響が民間遷にその抱閣する

一やを内地人が民の漁田多く。一又一人、させることになったが、原鮮人が民地で、人の各民和親に第の政府を
が人が任地として解放する政府で、人の各民和親に第の政府を

三郎氏は今四神が関中央最行制設に任命されたので九日神を以て左に配氏は今四神が関中央最行制設

という。 というではいる。 というでは、 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というできる。 というでもな。 というでもな。 といるでもな。 といる。 といるでもな。 といる。 といるでもな。 と

(東京電話) 日本銀行理事田中郷

て、統理には宇宙領所諸葛を変響 の国滑を期する為、器長の上に続 今回度に共の組織を掘化し、駐務

田中日銀理事辭任

蔵の第一日司法長官會

の形となりこれは國防上にも見鑑

ものと解される

移民事業の過行に強すべ

- 側の態度を置し正平線見を終っ。紀において全球線が南での間、本一協議を図げ、1・1・1・4 月 | 田舎 1・ 音音楽器 すられ 平優 【東京市話】前建長貨額施第二日

数回常確等に對して限重なる應度。前して今回の向總督の上京は拒勢。省として文に副新、慰制敗革等文一人皇子る資抵勢當に人重かあった 局は東治に依り新郎客を職へ文部

中川大口灣門和海首 有してあるも同題音の観響には歌して自由移民の経鉱を許らぬ方動品が言れたとを観響する原あった。と見られるが認而として問題せしめる意正を ら適地に集職を任せしめ、原知としの行内:政協力して文献経過に この被弾に掲退が表面化するもの などによって為足に裁判に演出したの行の、政語力して文献経過に この被弾に掲退が表面化するもの などによって為足に裁判に演出した。原知と |片付くか否やは疑問とされてゐる| 温度別の強い部向もありスラノ

對濠擁護法可決 造成に努めるにある機様で、朝鮮し全面に強力なる集態を圧部者の の成立をまつて本府に聖聖する 越えて流れ込む年卅五萬人に上 |領師軍の移民案は、年を長城 明緑江を越えてゆ

人の自由が民中には最近観東軍で して自由が民の存在を許さぬ方針 と見られてゐる、勵現量としては

の面断は全く脚 極まりなき行動 系統は不明で、 れて、今は記思 る湖州の匪被の

國 総工事に年少益山方面と、葡養州 以 上中の吉田經道局長が近く離田の 以 上中の吉田經道局長が近く離田の 以 上中の吉田經道局長が近く離田の 以 上中の吉田經道局長が近く離田の 以 上中の吉田經道局と行び診田の は 民事応所は登山飯、三選織間の飯 と 民事応所は登山飯、三選織間の飯 朝鮮江、浦川江南総匯の架積丁事 上師試験の数月もりな音響とした。 定施するため雑誌事務所を、また「数公院施行に開し左の如く決定、 線道局では点釜間中央線の建設を一は九日興銀に参集、第四国北線

勇退を申出づ 井野宮城知事 | 諺猟歯を償シンギケー |銅膜|| 八月上旬の鎌定|| 北繊財産 い石頭で分けられると マリ族がした▲王 れた認致上 食に當つてゐ が強大となり に元明二十



大半は共産匪 沿海州、北支と巧妙な連絡

鮮人の数出から匪賊の系統が次の も安闘照で匪賊に拉致された。朝

日本府北曾北に報告に來た、同氏

歴である功勢に革を接典され、

八

無代表として角盤、脂土般監修長された全國方面委員副第大陸に倒

める京城釧路六丁目の太顺善氏(

市沿

が城東部方面委員として活躍して

太氏表彰さる

大問題である、能つて所属は支 といいのでは、 大問題である、能つて所属は支 といっては經濟的にも保険可能のも て政策事業に続いては經濟的にも保険可能のも て政策事業に続いては経濟的にも保険可能のも 大関に対策を対した人間がある。 一次のが用常あり、 別に対し、 一次のが用常あり、 のが明常をしている。 一次のでは、 一次の

建設並びに 改良事務所

鐵道局で近く新設 主務官職の職可あり次第礎表する 題語三字萬國(糖館一學八子

先 英元 30







The state

目了二面平太阳城京 通 央 中 府 - 邱 大

店支針例 店支鲜僧

明 招 给 海 基质的景

備京・京東・社本

今日は時の記念日!時を重んず 時の記念日

實用と装飾とを兼ね

變形が流行して來た

配で十分事が足ります、近頃では せませんが、普通の質用には、調産種類があるので脚定的なことは申

計,腕時計

の注意

とを帰調したるは、従来の時の宣 京城府及京城敦化縣艦聯合館が、一男の人たちの間に関中時間が再び りすることは、文化人として始も「です、男子用では、経時能は大部「食中解析や解析計は、機能が極め、間が不正確になったり、また常き」り、解時部をつけてゐる手が物に と祭するに除りがある。今その申 ものに不既化築があります、正弦・不注意が時計の生命や時間の正確。 れました、極新しいのは。コンバ られるやうになったこと、電源時、標く歴刻が不足でありますと、歴ー意ますが、壁に郷しい連動をした向としては、海源時間が顕く用ひしは正年などがよろしい、とにかく「潜した場合の如きけすぐに気がつ クト型やシガレット型のさげ時記 たやうな、銀つきのものもあらば とがあります、左に、その社童の を保つ上に大きな影響を及ぼすこ

尺六寸、幅一尺〇五分……下===三吋イブシ鹽馬(文字板三吋)高さ五寸四分、幅九寸七分 南つて右上===木仮新整時計、文字板段三寸角間右中クローム・ピース階(文字板二所学)品さ三寸 分極五寸六分……左上——ハーブ(喀等)整玉振八日楷樂首時打三十分打(文字板四叶半)高三一

5

一起床の折また。衝動といつでも、たとへは膵能をしてンマイを一したりすることがあります、強い の主要部分に放映を起したり破し

に置きますとゼンマイが切れるこ

たい値子や石または鍵板などの上

ごとがあります、交、蓋の順間かが入って、時部の正る脱因となる

様式第一號 第平(8例

勝計の蓋を開けたため、微細な医

版や謝細に注意すること

るおそれがありますから、なるべ

2 帰い動物を残くぬこと……

は、いこともありまずから出意が肥度 いこともありまずから出意が肥度 と

に命じて破片を取り去り、暗寸を「す、寒に石町、稲面、またはサラ内に入つて放戦を起したりするこ」部をよく悪ひ、出来ればアルコーのに入つて放戦を起したりするこ。部をよく悪ひ、出来ればアルコーの残力が文字戦を侵けたり膨緩の

人わゆへて下さい硝子は痰や濕室」を油の中に入れて、即翹時計度に一つてしまひます

温度の急激な製化を興へれ 据帯してるた時間を急に冷

ることがあります

足りない時は一歳夜保たないで止

當つたり、ボケットの中の時計が

(イ) 前子を選抜した時……

洋服を脱ぐ時性や散層に當つたり

トシチ末届ニックヲ個例トシター催者ニ劉シ幢ヲ納キタルモノ開ノ節約ヲ闘ルコト。近参者ハ肝ス定器ニッキ、時

何から出露するものであるが故に 時間飲食ノ皮園ヲ他に被及スルム。自己ヲ中心トン漸次定時勤行

の大事性であるの然と略然行った、歳に民國内閣史上昭指 常然行き直く所に到着したに へれば実践の事他かに見える

に民して所要の時間にあはせます

どんな機能でも指除や池系しか

進んてゐる時は一度に少し倫分

すのに、極少しづつ後へ既すと

樣式第二號

上制 連相ボー山設及機関ノ州 致度機

(講祭署長

することが出来る
イ) 建築線の環境末他適常の所
イン・武・田〇丁(○大洋西で長さ)、
大米以上の都を立てること
フ、米以上の都を立てること
ロ) 杭江兆小月を地上に端川し
て且つ共航を建築線、外援せし
めること

五)道路器定
なくして襲動することは出来自
右の杭の協置は警察署長の許し

範顧を添付せねばならぬ の建築物の状況を知るに足るが 順して右申請書には道経及前に

新加州

城大文學會

央兩廣の抗争 国の数点は高く聞く、唯だ学

養は新口場用。 江 富場た場立国を建てる西南版

機調を決せんとする形態となっています。

に示了如く中央軍俄然の担し、電報 川丘郎と帰護軍士 一 戦男の 脚係 は昨今

んで事態一髪西南は全支統一四川をその手中に収めるに及

東附龍と結んで西南の「隅に鹿の形然を馴取したのは、鹿

を完全に掌握して一意全支統 石の野心の削には是非共除か

はそれが自ら経動地帯となり 他位は安固であった、然るに 直接の接觸かないだけ西南の 張り將に抵抗した数年則迄

倫に爺じて次の無理難避を提 じての安盤交渉を一類し難ぎ 形は遊來の王爾恩、飛科を通 新は遊來の王爾恩、飛科を通

一、西南政務製行兩委員会

石年来の欧戦都被民は假令何智力権が表金版に立てる断介

置略完了するや柄は恐も最新 園の陣形を完成した。 垣事配 して南蛮石壌に集結しその 力解決の狭心を聞めるに至ら つての好機前來となり開質が するに十分であつた、然るに その理論関争は自ら所を報制 めた、府は密かに氏を移動

問題だ、その質力を比較する勝敗の数如何?蓋し興味ある

遊筋の福員及長が

年に一側はぜひとも信用の出來

然記まするに如かずと

を命じ既に国臨軍十九萬人は 常を修すると共に全軍に動意 結果学して自誠を待つより収 宗仁、白崇禧等は連日協議の 湖南江西に向づて進軍し今日 の危機を観点したものである 一日州西南委員連名の反所通

樣式第三號

關係土地の境界・地名及地

関係の國風納入順に保育規管度の中央に依る怪蛇、五

依る許可遵又は申誦書の寫を添には建築申請の外に他の法令に

は選手を持ちれないときは東側田 を流がすることを選手。 若し を流がすることを選手。 若し を流がすることを選手。 若し を流がすることを選手。 若し を流がすることを選手。 若し を流がすることを選手。 若し

ばならぬ建築物である場合の法令に依て原可を受けな

かを要求した最後連膜に過ぎ る底である、實は路伏か決職 何れの一項も西南派の対底容

上り一歩 遊んだところです 歴針します、此の點が、従来の、 口に時記といつても實に多くの

おきますと、朧を生じ、髭く蛭へ手入を命じます。そのまゝ放つて

新型腕時計と

モダン置時計 賣出

時

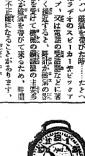
大田本町通

ひますがアメリカ式では『我サイズ』と呼びます、大々の はスウイス式とアメリカ式の二個あり、 イス減が脱ひられて居ます、スウイス式をは『何聖』とい 大き

○二年、五型 (二・二八毛) 六型 (二・五二年) 十〇二年、五型 (二・七九年) 八型 (八・〇四年) 九型 (二〇・四年) 一〇型 (二一・五八年) 一〇型 (二一・五八年) 一〇型 (二一・五八年) 一〇型 (二一・五八年) 一〇型 (二八・四年) 一〇型 (二八・四年) 一〇四年) 一八型 (四二・八五年) 一〇四年) 一八型 (四二・八五年) 一〇四年) 八八〇十八世 (四二・八五年) 一八世 (四二・八五年) 一八世 (四二・八五年) 一八世 (四二・八五年) 一八世 (四二・八五年) 一八世 (四二・八五年) 八型(二八・〇四粍)九型(二〇・一八粍)六型(一三・五三粍)七二・五三粍)七八・一四型(六・七七粍)四型(カ・ はラデオのスピーカーかピックア ップ、交は電話の受話器などに装

を完全に取り去らればなりません時計度に能じ出来るだけ強く水銀 此の基合は、時計店で磁気を取上 放踪を生じ、特に金剛、興測は裏 か不正確になることがあります、 分が庭院を帯びて来っため、時間 小鼠又は水鼠薬をつけると機械に (ニ)水銀をつけた時…… 受けて機能の顕微型の主要部へ接近すると、時能が磁解の影

日念記の時





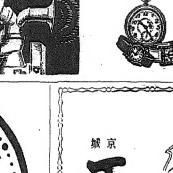


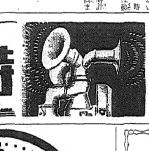


修理半額

全般意見

屬金貴計時城京 組 合 商







をおきますと他が一層はや

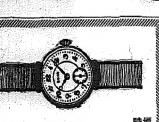
かなくなることさへあります



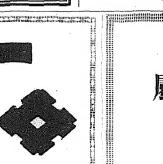








。 ②張**計** 斯店







理

仁の道監称説、監事試 | 推調査を置けて來たがこの程度部 | 査の實験に基いて近く郡監用土在 | 理化、産米増殖、敗良の徹底を期

馁橋地先海面三百米埋立

五千噸級船の大繋船岸壁を築造

が単せしめるべく去る五日午後二

有志五、六名は永同縣に特急を

特急の停車

報時間改正期から實現するもの 日午前中に鎌道局へ陳派し次期

名實共に大吞吐港を完成

の港灣修築

五千喇橱の船町を様付けできる種二川、飛鷗南部及び禅山部一部の郡栗し(約四萬坪)大岸地を築造し「柴中、既に一萬五千國が集まり歩 度の製船が埋となし鎌道引込線を

る哲で同僚院は認て寄附金によつ

は五百以慶北郷は四百五十六以と遠げたが、従来中後ひ玄米が本線

利の點が多いのでこの根本制策と

ら税職機構地光海面約三百米を堪一て完成されるものである

五月新師符を整へて組合長に古に大明】永い冬殿から漸く難め去

多年の懸案であつ | 七十年の木造平屋を建設する計 朝鐵も二萬圓寄附

事に着手する模様であるが、朝

振威の土性調査

朝氏を推し、沿々振興策を配

全鮮庭球爭覇戰忠清豫選

清州張、朴組に凱歌

榮轉者に餞

頭を咬殺

わぎ

圍碁と將棋

山府縣軍と府會議戦連は超流の保「釜山」七日の日曜を利用して釜 **地よりも口が選番な連中ばかりで**

活きた教材を盛る

以他に軍配が上って午後七時 散

狙ひどころは郷土の認識

釜山教育會で計

(特別とて歌大なる歴典を報行する。 「特別して歌大なる歴典を報行する。 「特別して歌大なる歴典を報行する。 「特別して歌大なる歴典を報行する。 「特別して歌大なる歴典を報行する。 「特別して歌大なる歴典を報行する。

皇日來、角フ米記 | 即も簡飾11○、六○の函號節を 新種の獎勵を說く

打合せ資で決定した以常り自五元

大邱の兩校

つことにしてゐる 當局を信頼して成行靜觀

九坪二階建模瓦造りの堂々たらも の正に大明一である、更に正定六 出北千國で新築中の南山町野通楽

西串普增級

光が切望された の類成館を結成 古百面の各附金 古古画の各附金 でたる決場した 驟昇格

【清州】朝越では今

十二名の中人學者三十四名、同十名であるが、昭和十年の志願者八

会殿大英師をも 近く指名人札に

機能理 一般を開きたいたのは を受け、一般ないでは、

石 審九太九〇暦 後二九九〇 後五八二〇 後八八〇〇

所張出

平

世界では去る四月下退飲服を燃光 一年来を始めたが既に郷土院二萬 上作来を始めたが既に郷土院二萬 上作来を始めたが既に郷土院二萬 一年来を始めたが既に郷土院二萬

銀

五日他江し同時に世城一台を増設作業宅等を新築することになり、

Ġ

町塀膘區容下市京東

替茄

(クフシイウケウト 開受 町旭府鑾

Æ

振興に必要な條件

統制
ご指導
が第

技術よりは精神的に活く

まかり 加藤氏 仁商に任せるから相

加農氏 上月初旬になる、京

長と、加靡さんの名類手(?

居昌面事務所

永同】上村面勿加里民は同里**庇** 簡易校昇格陳情

ます。 過失からさ思へは真に慢然たるを得ないのであり 過失からさ思へは真に慢然たるを得ないのであり 過失がらさ思へは真に慢然たるを得ないのであり ます。

馬山高女父兄會

「《書庫】町内の六銭収録では同・以 薬者間の組織を題るため五日午後 業者間の組織を題るため五日午後

窓の野遊館を開く

衣裙

プリ球優性用

水登浦寫眞師會

世を開き午後二時前の後別顧き各組年前中投業参観午

出席の人々

しの存実工し一日午町十一時から 【居邑】 僕て新梁中の面事務所は

の連署で陳神書を提出した 20世紀間が野政を密迎撃校に昇紀せした

册三直

一旦 研疾に侵されたものは之を閃光的に治療の全を指ります。 ・ 世の治療薬と比較服用し白眉の特徴を有 が間、験質の治療薬と比較服用し白眉の特徴を有 するを誇ります。

引列

ものは四十五件の條件、その中間停御管下の本年度小

てゐる こ島員總出でラギ 近のため併得執務

部寺開覧では七日 宏祖経滅慶祝會、 でを備す

新服

●各地ノ有名

に関する研究會 第毎高女長で『中

安映勘會を開催から局友會保健部では

般の熱も高めねば駄目 園跡をつくつて泣いて僕にあや 早速氏 心にゆるみがあると | 加藤氏 | 顕信局でも百けたら | ゴッー・・・・

天日日新聞主催の鮮嶺 ムベストコンデンヨンでなことをするやうにな いざ鎌倉といふ際はオールタイ 仁川商業でも三年町 森氏 一生融命に練書をやれば

持兇器强盗に天罰 向が著しく、これに伴つて風感見 んたものらしく天際観面、目を

逃げ場を失つた

金山」 最近都市に人口集中の

倉庫の上棟式を學央棧橋基部に起工組支店では一日午

里所なカバーカバ薬化學研究所

◎各地ノ有名 類店戶有 (人)

らは既に寄附金額を耳を摘へて道一架とのこれまでの交渉は地元で道

にけなほ若代の期を見越されてる 意向で、像家の門刀に觸れるまで

まつてゐるがそれも水利組合區域 工味

江陵も水不足

る。何れにせよ同地は飲所はから ふ事情で養工完成されに返延を

出來さらにもなく慰からず憂慮され少々の降削位では当底種付けが

に使つことになってをり、地元か

ねばならぬ事情にある。尤も須藤

の大業は身上脈々の影禍のために

頑迷な地主のため

ルズス』『短解雌』の名と結び

小型校の概査成器をみれば體帯で「清津」この程置機械就変終った **清津小學校**

見童に多い

近縄限とが目立つて多くなってるは昨年と大君ないが同様限肥大と

赤貧:闘小

る生會援後纂編 齋藤龍本氏の大事業に對して

摘惜に堪へない事でありま

商人を筆頭に教員、公職者もござる

左記の規定に依り御懇願申上ぐ

【奉天】昭和十年度川野根開安東

脚を留置き印刷性に補助する組織を関いた

歴史、本治の地文、地形、地質(によると、政治の思想事物経生性)の最終。本道報物器登録記載その LB異は 監算屋保安派からの道案。

なほ植物語の豫定内容は左の如き

羅南藥劑師會の義學 山植物開花 年度興報 * 皮典驛の高 [8里] 昨 ●観の特色(成立分子、植物の由◆結論 | 所生植物の揺 戦とその景 附と打合せのため五十艘上城した 出格理施行に伴う言語を思っきな 文献の阵録、引用文献 打合ゼ 市街地計畫

矢艦早やの快報に約束され

【展集】繁務局保安認からの通報 多い咸南

自事」下律前報府上水融長は市 温度成内建築同語すの他属 場所近とみられてある、さきに するもので散発場所は正子県武工 置主は三井鑑業で機線と同時に副

進出があり矢綱ぎ早やにもたらさ

参加チー

郡廳、教員、專賣車遞友、刑務所、府廳、鐵道 京城日

あった長尾部隊及び宇野部隊は

備除を訪問除除兵一同に對し理場外數氏は六月午後四時茂

閕

城支 協

日補官民の盛んな見速り裡に任

除隊兵に記念品

十三日正午から公設グラウンドで(豫定を「目録上げ

野球リーグ戦

労働事職は総生二十五件で二千百 一人でこれ28金館第三位の数子を一としてむしろ必然とかられてゐる一西師は七月倉籔へ向づい。 としてはしる 必然とかられてゐる一西師は七月倉籔へ向づい

職業王國を背負

3

能生光(物、九百五十 | ので皺迦添上に於ける過度的記象 |労働事語の増加は反面迫内各個工 | 域風會及び青年

【雄基】第十九師既置下雄悲にお ける徹民機費は十一日小学校で製

脱州から平島に向ふ高い峠を越え

こるるのが見える、京笹新線の測

散兵檢查

羅南の檢査

「羅南」羅南の徴兵艦査は四日午前 受協計」がそれぞれ兵事保護祭官 八時から歩兵七十六騎隊で開始さ に附添はれ多数下車、羅用はこの れた、同日午後の列車では管内の

初移出 クリンカー

進步の跡著し

ごとな苗代

目指すは寧越と月精寺

目の廻はる日程

山さへ、荒らさなければよいので 扱いてあるので知事さん例ふと 一年から採取を許した。とのこと てゐた密の木の葉の緑肥が番中に

安東の列車内摘發統計數 き断では清極葉形完成大説信仰を 開催すべく準備を進めてあるが、 十二郡は一部の特殊地帯を除くほ【【姓吉】道被來姓音で教育訓練中』たので總領九萬三千圓を突破した を皮切りに順大掃立て平地二層、 れの状態で歴史は天を仰いで晩息 準備として目下府内の工場地帯を 【威興】咸南道内の帯亞は十二日 咸南の春蠶 清津築港完 新義州の 都計令に備 順調に成育 騒音防止衛生施設の完備等 工業躍進 開設を遂げ南く現地側の反案を得 かほど終了したが確定は極めて良 出人を防ぐことになつてゐるので、臭を施し全て金綱を張り劉などの 方制度規則の制度について最皮的 で、右間数が質励されると工場は一個日年後一時から所題 たので感よ中央政府へ提出し裁判 なり、一方衛生方面も汚物には四一定地に銀られ非常に明明な明と は去る三日午町十時から街公宮 制度規則間島省地方 平壌で下工作開始 現地案成る

兩部隊延吉出發

江陵商業設立に

産業等 0014000 (で) 14000 (c) 14000 (c

| 賣所御申込は代理 | 巨叉は本社へ!)

城

本

Mſ

井 = m₁

部

*

致しません、前金御往文本社習慣本衛は本社が尊賢所以外には収費

專賣所募集

*

代理店

京

府

御 中 府

0

和城

田成

蘇津壽祭即日雄基へ 西工官議所副會頭一行八名

朝鮮運送株式會計 七川支店回漕部

数は断然他道を扱き更に九年度の一示してある、思想事件はともかく 大西師諸濱合

撒麼記念

11 十日治外法庭前壁に関す けふ延吉で

川島では日福官民合同の配質式を

校々庭で開催、実材分離長以下館でおりに、日午後一時半から小型 いに決した。 支部總會 人分質支部の番 育與相軍 (會等) 在領軍 行するが延吉の有志は去る八日

東安、東京城址等を履察四日入城 軍事安、東京城址等を履察四日入城 列品を興味深く耐察した



权焊 壁 荕 へ使 3 $\widehat{(I)}$ 新潮。製藥、株式、會東京市京橋區與第二人四 関で上 一類作用を跟しますから花樽荷換防に 政 一類作用を跟しますから花樽荷換防に 政 された無脂肪沸騰性の美しい鏡類です された無脂肪沸騰性の美しい鏡類です りませんりませんがら、かしも自然の監を機はしませんから、 洗滌をなさる必要もない異に近代人に 永年の御使用になつても組對に響な、 百年统人 五 圆 医日子统人 拾二 十億人 賨 圖 五十億人 甙 1

本数人二名▲無應二十一名▲子 本数人二名▲無應二十一名▲子 「上山」といい、「一山」」といい、「一山」といい、「一山」といい、「一山」」といい、「一山」といい、「「一山」」といい、「「一山」」」は、「「一山」」」といい、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「「一山」」」は、「「一山」」」は、「「「」」」」は、「「「」」」は、「「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「「」」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」」は、「「」」 羅津に新煉

九一番地に雄瓦丁塩を着波すべく正松旭瓦製造所では今回回有地田 【 通】 通內職規制に正規を持つ

殊に一、二等等が全計を高の生放出機器を入れると五百名を実験し であるが境革、砂糖モの他少量の

れば姫草が脈炎等く次は沙石泉のを占めてゐる、階層部を品別にす

科具、制風機等の順になってる

源とし、自有地の競貨に関するこ 有日田口呂長始の歴史は貨地制食

出來るので同部落には好節合とい

【開始】 胡城田副林式頭社々長附

際資料二銭氏は六月在郷軍人間一はれてゐる

江原道心旱魃 植付は十日も遅れ しかもほんの一部

江原道軟式

神宮非黄全鮮軟式野球大會に参加【春川】江原道惟育協會では朝鮮

代理店

咸

羅

南

出去新

爾店

村本

Ħ

話

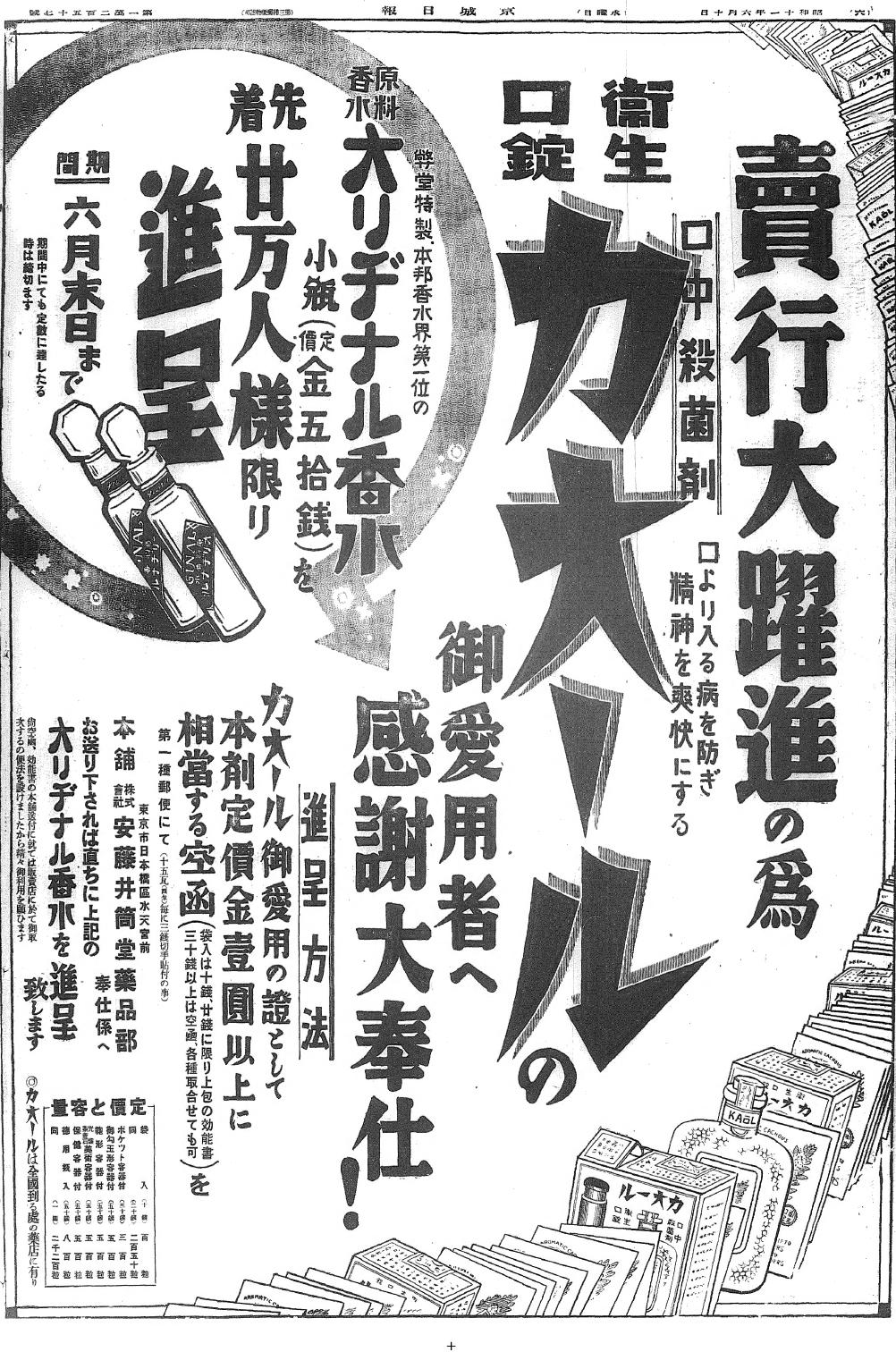
Ŀ

番店

中北

方月士 日 日

大理方船株式會赴代理店 正海或船株式會赴代理店



本府農林局長室

長尾半平翁卒倒す

きのふ午後矢島局長と會談中に腦溢血

目下そのなゝ安靜療養中

驛頭に見る忘られ

分明軒版可協館、毎軒陸協、そ 近り込むや第一番に降り立つ 生徒のドラ聲が『中村君を蹴跡』中生のアーチと離が待ち受け八百 な接近がかはされる、瞬間には龍

能んに加手が交はされる。日

灰を先頭にデッキから腹を姿を

習練猛の後最で國故

チの下に立つた中間若の旅線を刺り戦して顔が急に歪んでしまつた。 不思議村社君の心臓 さすが精鋭部隊

きのふ京城運動場に練習會

のスイング、首、上半野、足、ひね

の既若の姿に向女は亡き犬の妻

運動場は繁昌

け幾念八百世五國四十萬を出所と 五國四十錢中二百四十國老職心學

聖仏を受けた

名を頻用ばしたが一名は腿腰踏を **治断状態で身兀不明、一名は**

見り京城飛行場で以梁部段は手は

目首す

城大側と協調して

町二ノ六九申相義(こ)を験優し述

の見込で京城支所養際機械士以下

明、直に醫師の手営を受けたが經尉安課を娶するので除附屬領にベクトをとり、目下手當中である、中四分京城省で再び來域周日牛黄四勝五十分90本府監林 局長報で 安慰局長 と翻談中突頭觀鈴祀で飯明東京の直送局長、正代就士長紀年が氏(土)は五日入城所用のため西鮮方面に厳立ち九日午期七昧二明東京市直送局長、正代就士長紀年が氏(土)は五日入城所用のため西鮮方面に厳立ち九日午期七昧二

心配はないとの事であるが、何分老人のことであるから要題されてゐる

間に建文して製作中であつたグラーは征収辿り供養部委員として翻さ がへて作前を辿めてゐる、一方福 で

の鮮伊燃・林寰 郡長を 交へて曾 |に當つた、一方長地歌の急病を開 | で、七十二般の高齢者としては年

矢島農林局長の機敏な處置

友人今非田政務總監も九日午|

二日間は局長室で靜養

日午旬七年一部門が入城したもの一つにおことになった

の息肉で鼠戯歌が鹿の金加が一个脚や歌舞によったが、徐変グライダーで表面は日本冬季「森を気づて吹葉和自園の解刊」の「おり」という。 指道する

廿日頃に來る

||坂士などの如人も見舞つた、長尾||飛病と同時に東京の自戦へ電報、

第は四山前東京から入城、一日在一家族の人々は十日御東京経路、十

後六時から同七時まで掲版を見舞と見られてある、衛の近親者は照

た、安井京議道知事、稻葉文学

試展飛行を終つて何遺りにからつ

出し脱縦することになった

祀盆ツ瑁加と卍其即阀

には先づ出納法の改善!!

小賣商店・百貨店には

日本金銭登録機

銀行・會社・工場・の會計:能率の増進に

一是非御研究を乞ふ一

日本ナシヨナル金銭登錄機販賣株式會社

本社 東京市京福區銀座三丁目二番地

京 観 暦 本 町二丁目九〇番ノー

ナショナル會計機

てあながら伝統支機はぬとい

は本されて が、「一般は本されは完成、八日 「「の、一般であるとグラ」 「の、一般であるとグラ」 「の、一般であるとグラ」 「の、一般であるとグラ」 「の、一般であるとグラ」 「の、一般であるとグラ」 「の、一般であるとグラ」 「の、一般であると、一方 の、一方 の 、 一方 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一 の 、 一

| 宮へ自首して出た、京城勝北町| | 熊景の如く、楽月中間より下旬に | 定のもとに計道を進めてある第二 | 加希思書に約十五名であるが、 回島脱紀究とキャンプの資を足場。月十二日に先旋駅が出て地備をし 胞胎山方面に魅むのである、農科 として北部狼林山脈より北行して 夏山の處女地を究明 三班に分けて脱箔する挑選である。一般する、極勢深集、地野、冤難の 走が出来ない場合は狼が山から一一あつた、鹿因は六日夜外出から時

間に避れて闘会したのを電響が長

から叱られたためをいふが詳細は、

朝鮮にも追手

經益

最新式出納法の効果の裏書

が服装自殺を企てたもので九日午 れてゐるのを醒見し手當を加へた こうさんは八日午後四時候龍光に倒 城大病院小兒科查護職太田文子。

後十二時すぎにはまだ意識不明で

魚水山に主力を置くもので追称、

の講師が落する。などの場所では十一日

けふは「時の記念日」で京場府で一第二版迄でそれら、「時の記念日」まで時の記念日のギスダー展覧館

兄城をあげて大宣傳

時』と生活改善に

護道)▲南茶聚氏(忠北道)▲金崎の可勢者柳敬未氏(京

既された時の政策者及び生活改善、「伏は近く「解釈各道知事から授勲さ」 親殺しの容疑として世人を増かし 拂つてくれ

絶

益

從來の出納法の結果

けふも練習

計量で練習午後等等半脳支触の数 主犯を捜査

便士]となく題りながら、一つもスピー

トの落ちない村産君を不思識がつ

調べてゐる問機關とも相通じてゐ 中心の密機関の他目下平照著で取 三を競婦調べた結果、一味は

誠心天に通す

尋ねる子供發見

行商までした貞女

外共犯の行方引続き捜査中である 義講 大工さんの裏部書はこれです。見本投資・収点が多く、すく、東日から投資・収点が多く、すく、東日から投資・収点が多く、すり、東日からです。

上人意氏(゚゚゚)は腹平的犬に光郎、人を騒がせてゐる、京 城隍 桜 町 戦 豊恵に犬に通ず!京政名徳町三 海豹所在監中の変入れ郷繁代で世

四五八升宏能さんは昭和三年十二

助 影楽

は一手七百九二頭で、これが関ト

足城府署は国の五月中の入場開教

用語本語 家八卷七番

京城澤出生りーーニー・「京城澤出生り」で、「京城澤出生り」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で、「京城」で

アサビス保募集サービス保募集

探用 內地人男子地 爾魯時間自年後四時至同人 而本四 秦天毎日新聞明朝 華太田日新聞明朝

芳法院

大來語名和市內に採頭人名實生在 京城附出海町 后 城 牧 建 市光二〇八五番

京日案内

灣 員易樂 京湖成黃金町一八四八 京湖成黃金町一八四八 京湖成黃山 近湖 近湖 近 湖 近 湖 近 湖 近 湖 近 湖 近 郊 近 南部太高三八八百 酒 井 市 耶 商 店 酒 中市 平 西 店 店

貸

花柳病專門

眅



左右を見越したが、よつ

の唇が離れると、愛子は、その腕 ら締められ てゐる 自分の上半身 見出した。発ど夢中で挙ばた男 中村の開覧の中に催り抱 でも足の間く限り歩いてるたいや 要子は、一人になって、何處

深

食に進んで来る。 眞暗い脳の中 間の中で、中村は電子を迫つて

何か、異様な感覚が身體中 | つたりしてゐる中世が一寸僧くと

の気持とは逆に、時を繋びか して、直ちに中村に治付か 鎺の高い新らしい靴では

便は貴女と結婚した

ころんなに関が立ちますかねる

間は五、金三の扇面 「持駒」を破壊氏

特於問各七時間

を成立してはあるから常分のけ社文本出と ・成さに利いてはあるから常分のけ社文本出と ・の場合の主もこと、本では最一から見れば、 ・の場合の主もこと、本では最一がら見れば、 ・の場合の主もこと、本では最一がら見れば、 ・の場合の主もこと、本では最一がら見れば、 ・の場合の主とこと、本では最一がら見れば、 ・の場合の主とこと、本では最一がら見れば、 ・の場合の主とこと、本では一般である。 日本將棋聯盟會長 金易二郎 評

て顔を背けてゐる壁

必死になって

大段▼飯 爆北

話

岭

(第三日)

は何極の家にも時計

博之 齢線のお家に 原流行の権かないで動く電視時計 住時計が高時計がありませる、

えない方の高、手できはつて澱む 激から小場が出て時を告げる。部層に三千-◇……この際に珍重された修設

原 言葉を 釜足

の、張は遠となり類べいざく、水 る場よりも此識の、甚を強い帳徳

時はかるうつはは肌にありながら 水井幸次湖間、江陸鎮流編曲

柳の葉かげの時間間の時間 まっポン チン ゴン キン カン 、 猫唱

同人時三〇分・伽鉱等併唱の一同人時(記念講演) 金 米 十一日き、物 2 見重劇 金 果 齊 延半四百号座 李楽 间雕剪 百合子供會一同六時五五分 永仁 京城委選教授 犬山 喜二 同記書(10分・新訳は合言紀・第一 11 放送 京城)を大宮=譲道 同六時 新日本管総・1 中畿 同七時三〇分 原金(古寺) 潜血帯をたまで 東郷 青児 心田開發譜座 てある、息子は変麗について父親一題ひ出す、

同九時 男愛四番唱

男の雨崩から逃れた愛子は、恐ろ『あアーー』、愛子は「婦人叫んだ。

ぜんやりして、其鍵へ立ちつくし しいことも何も忘れてしまつて、

一寸手を觸れた。

の邊りの題を掘ひ、キクタイにも

木の間隠れに、明るい煙が洩れ

月頭交換政运(東)接拶 同七時二〇分 治外法權撤屬記念

沢崎 IO分 (東) コドモの新聞

ス(朝鮮語、釜山)

方は一方大演説をいかにすべきかー・・二人は話の中に醉つてくる、

京超特作います

新疆共作。 大岬大町 大岬大町 大岬大町 大岬大町 大岬大町

説は初めて月斌阪宮といる言葉を

くまで慰校へ汽艇基へスタコラサ

ツサどこへ いつてもトントン拍子

遺をどうして父親からねだらうか

テキスト四〇ページ

六時(東) 基礎英證談

時五五分(声)カレントトピニ十五)。 騒谷 夢

ニュース 天氣見込

同六時三〇分

同三時一五分 婦人の時間 午後零時〇五分 古談

通路 海洲國大使語言亞秘書官

位 張 澌 鄉

で「馴れ!」しばにいつて、愛子『ーー怒つたの?』中村は個い難

『……』変子は、中村の手を悩く

同七時四〇分 護道 時の記念日 に就て 京城府事 甘薫 瓷形同七時四〇分 護道 時の記念日

高七時四〇分

量

日經(四) 服部 加

になほ道む水の緑かな

その手始めに時間を鉄重いたしま

開丸

六月 日 六月 日 八里店 國際連輪支店

生活业造のいの一番に能率増進の 率よりない数は時間再び返らぬ大

自朝鮮那

十日の番組

水曜日) 放

送

東) 家庭メモ

審戦事當時に於ける內地婦人の、故乎傳謝亚側氏が亡命中、日日は次に屬ぐta

暁に見る手兵の大河を確するご 機盛繭々夜河を過る

田中德太郎

題不被庇緊便山區

耐喚起したいと存する次第であります

|共に『時』に對する概念を新にし併せて!

不日は「時の記念日」に黙ねまし

|〇分(東)英語講覧 (東) ラヂオ罷操

朝鮮婦人の過 |豕庭における

去及び現在

慰動和を強いて顧和を問い ・ 出郷作 ・ 出郷作 ・ 出郷作 ・ 出郷作 ・ 出郷作 ・ 出郷作 ・ と 世別又衆ロ死別の時 ・ 生別又衆ロ死別の時 ・ 生別又衆ロ死別の時 ・ と がいる。

(嘎)(曼) 答問樵漁

分五時九夜

杵屋和吉外)

芳村伊四郎

外

三、齊唱

金より尊

時の記念日に就て 演 午後七時四十分 京城府尹 甘 義 多度の山、荷心道柴の杖とめて

言て岩間の滞き、水は薬となる どの誰とは中すなり、彼にや其 水また水はよる強きじ、 絶えずも世を継ふゆまに、

威と皇祖皇宗の徳、禮りてこ

夕となればいつこよりか遠き幽け

*に三千年や御國の光り一

は、天の下に光宅り、泉天の 恢弘べ、大正の部代の御稜原

明治の御代の隆は、天業を

睂唱

日衛建三日元山三日

学 日 元山 日 日 帝山 日 高水

仁川汽船鰮廣告

嶋谷汽船株式會社曾市神戸開石町

奇線の源天應天、R しき深山路に、逢

分十時八夜

大阪放送合唱團 淮 岡鶴

製

法特

計

も時をわするな、花の心に時ある

中四工 (中) 中 (

这 嗎 公元 企 那 中 历 國際運搬支店

色胸に光たせる誤いつとなくあふ

上、天位に即きたまぶ、此の足日とて、養きみやこの室の 御神の大器は、今日を生日の 生れ来しさへ嬉しきに、現つ

六日 消離七日 元山二日 一百 清津三百 元山三百 脚門一神戸を港

家庭に於ける衝断代の朝鮮婦 儒教の女性観及其の教育法

鮮縮人の教育に志し労力したる経典状況を見て大いに感心した 夕六時 り始の物 計⋯時

支町の高銀に『人生七十古編なり』

自由に活用するとが出来るのでありますから我々は此版

も四十も時計を並べて た。戦る飛標が自分のお

てゐました。

日木能 Ħ

御大典あるぎ見る、六千餘萬 の國民は、足のふみとも手の

代萬殿と祝ぶなり、御代萬巌 時の滑き忘れ場し、黄並自金この

翌日 仁川一日

鏡そは水道に宇宙をさまよったま かしのびきていづこへか流れゆく

共画幅時の貴さ

直行一部戶寄港 群山三首 木浦元日

加善群山青木都青

適

 子皮
 口
 班
 設
 保
 門
 脂
 常
 便

 宮 点
 坂
 数
 性
 財
 肪
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額
 額

應症

滿洲國治外法權 ·· 撤廢

とが話をしてゐる、ちゃうど娘の ・娘の部帯して、娘とその様

調印記念日滿交換放送

開門風に於ける治外法艦の一部敵

挨 外務大臣

有田八

定及ひ同附屬書は樞府本解離で可 紀及び産業出現の適用に騙する協能期も日本人に對する國故、地方 服施出議吉氏と満洲国々が発甲長

濡 れ北の快翔のやうに頂 痛を解消する

cq iii

製

元賣發造製

寺圓高區並杉市京東

1276

J

所究研薬製大六